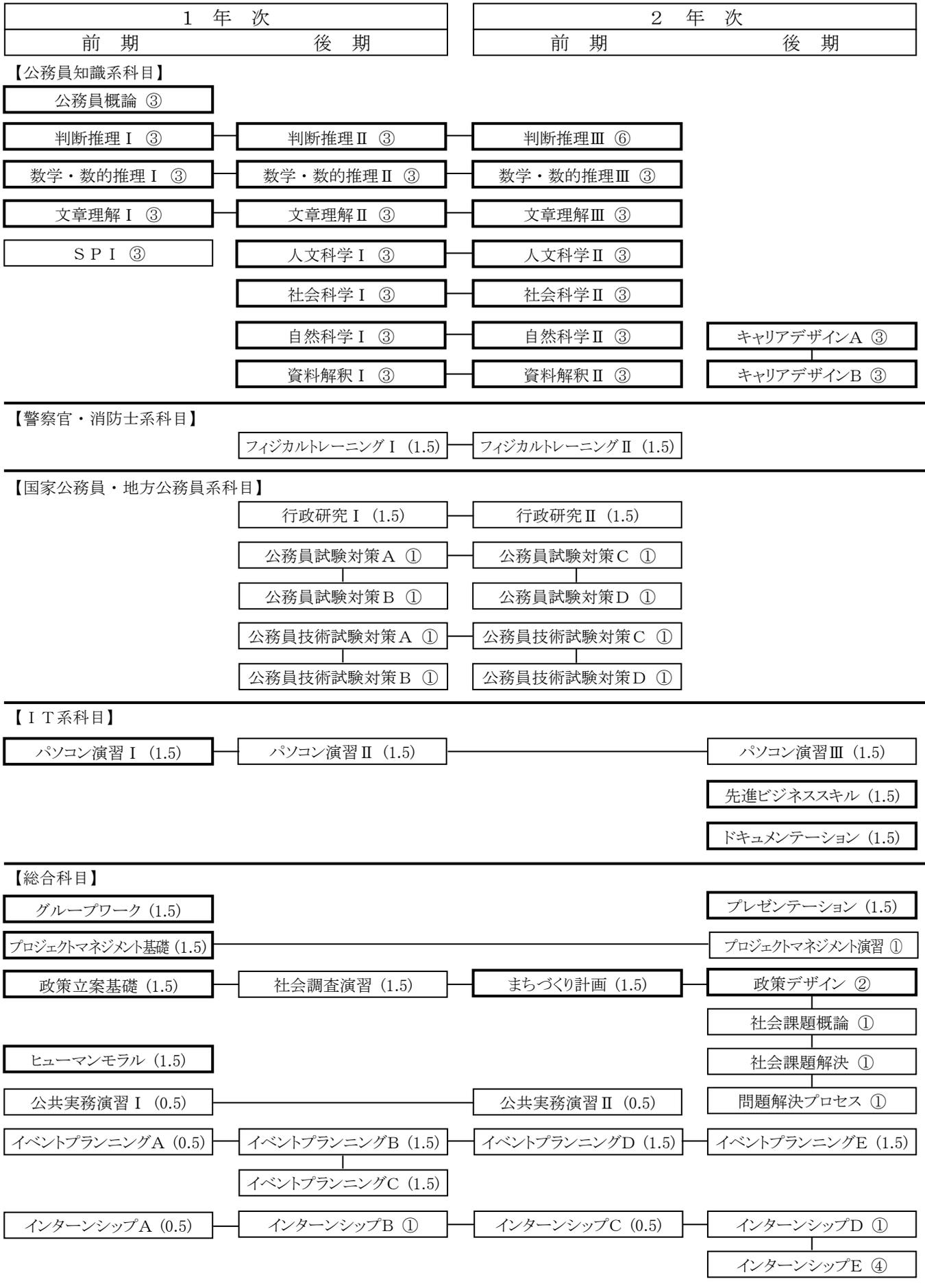


公務員学科

2025年度入学生対象 公務員学科履修系統図



注意：太線は必修科目
○の数字は単位数

教 科 目 名	公務員概論	担当教師名	仙名 伸行
	Introduction to Civil Servants	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

各自希望する公務員試験及び職種を定めるための授業である。国家公務員と地方公務員、公安系公務員と事務系公務員についての差異を意識させ、公務員の職種について理解を深める。適宜、各官庁による学内説明会を実施し、職業観を具体的にイメージさせる。

[履修に必要なこと]

学生自身がなりたい公務員を意識して、授業に臨むことが必要である。

[成績評価方法]

レポート提出・平常点にて評価する。

[教科書]

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

[実務経験・教育内容] 国家一般職(事務北海道)

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公務員試験の日程確認	国家公務員及び地方公務員の受験日程について
第 2 回	一般曹候補生/自衛官候補生	陸海空における業務の違いや勤務地について
第 3 回	刑務官	刑務官の業務と勤務地について
第 4 回	海上保安学校学生	海上保安学校及び海上保安部での勤務について
第 5 回	税務職員	税務所での業務について
第 6 回	裁判所職員	裁判所での業務について
第 7 回	国家一般職(事務北海道)	各官庁における業務の違いや勤務地について
第 8 回	北海道職員(一般行政)	一般行政の業務内容と勤務地について
第 9 回	北海道職員(教育行政)	教育行政の業務内容と勤務地について
第 10 回	北海道職員(警察行政)	警察行政の業務内容と勤務地について
第 11 回	北海道職員(公立小中事務)	公立小中事務の業務内容と勤務地について
第 12 回	北海道警察	警察学校及び各警察署での勤務について
第 13 回	消防職	消防学校及び道内各消防署での勤務について
第 14 回	市役所/町村役場	道内の市役所及び町村会役場の勤務について
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	判断推理 I	担当教師名	富永 史人
	Judgmental Reasoning I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

公務員試験初級レベルにおける判断推理系の問題に焦点を当てて、問題解法のために様々な問題パターンを学習し1次試験突破の基礎作りをする。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 判断推理 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回		命題と論理
第 3 回		試合と勝敗
第 4 回		文章問題 (図表を用いる問題)
第 5 回		文章問題 (ウソに関する問題)
第 6 回		方位・位置に関する問題
第 7 回		方位・位置に関する問題
第 8 回		順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第 10 回		折り紙とサイコロ
第 11 回		展開図と軌跡
第 12 回		展開図と軌跡
第 13 回		平面図形と立体図形
第 14 回		投影図と回転体
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教科目名	数学・数的推理 I	担当教師名	大野 賢二
	Mathematical Inferences I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

1 次試験突破のために最頻出事項に絞って授業を行う。習得のためには学生各人の努力が欠かせないが、単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理 TAC 刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	数学	数と式①
第 2 回		数と式②
第 3 回		方程式
第 4 回		不等式
第 5 回		関数
第 6 回		関数のグラフ①
第 7 回		関数のグラフ②
第 8 回		三角比①
第 9 回		三角比②
第 10 回		数列
第 11 回	数的推理	文章問題
第 12 回		図形
第 13 回		場合の数
第 14 回		総合演習
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教科目名	文章理解 I	担当教師名	藤谷 江理子
	Article Comprehension I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

公務員試験の文章理解は、読解力と論理的思考力を評価するためのものである。正確な情報を読み取り、論理的に判断する能力が問われ、行政業務に必要な基礎的な理解力と判断力を確認することを目的とする。

[履修に必要なこと]

新聞の社説やコラムなど、普段から論理的な文章を読んでおくこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 国語・文章理解 TAC 刊

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項目	内容
第 1 回	国語基礎	漢字
第 2 回		四字熟語
第 3 回		ことわざ・故事
第 4 回		現代文・古文の重要語句
第 5 回	文章理解 (国語)	現代文の内容把握
第 6 回		現代文の内容把握
第 7 回		現代文の内容把握
第 8 回		現代文の内容把握
第 9 回		古文の内容把握
第 10 回		古文の内容把握
第 11 回	文章理解 (英語)	漢文の内容把握
第 12 回		内容把握
第 13 回		内容把握
第 14 回		空欄補充
第 15 回	期末試験	記述式の筆記試験

教科目名	S P I	担当教師名	仙名 伸行
	Synthetic Personality Inventory	方法・必選	講義・選択
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

地方公務員の採用試験で用いられている S P I の全体像を把握し、その解き方を項目ごとに習得することが目的である。非言語能力問題と言語能力問題のふたつの柱を意識させ、文理融合した思考や解法能力を身につけさせる。

[履修に必要なこと]

分野ごとに問題の解き方を整理し、ノートにきちんとまとめていくこと。

[成績評価方法]

期末試験等により評価にする。

[教科書]

最新最強の S P I クリア問題集 成美堂出版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	非言語能力問題	整数問題
第 2 回		比・平均・分配
第 3 回		仕事算
第 4 回		単価・個数・総額
第 5 回		損益算
第 6 回		速さ・時間・距離
第 7 回		場合の数
第 8 回		確率
第 9 回		割引料金と清算
第 10 回		分割払いと割合
第 11 回		推論(順序)
第 12 回		推論(対応関係)
第 13 回	言語能力問題	二語関係
第 14 回		短文穴埋め
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教科目名	パソコン演習 I	担当教師名	手塚 一志
	Computer Exercises I	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

公務員としての事務処理における正確さ・責任感・完遂力を身に付ける為に、パソコンの基本操作から、仕事で必須の技術となる表計算までについて、その概要を理解し与えられた基本的な課題を作成できるようにする。

[履修に必要なこと]

パソコン操作や関数について、ひとつずつ習得していく姿勢が必要である。

[成績評価方法]

課題提出・期末試験などを総合的に判断し評価する。

[教科書]

30 時間でマスターoffice 2021

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	OS の基本操作 1	マウスの操作 キーボードの操作
第 2 回	OS の基本操作 2	コントロールパネルの操作
第 3 回	OS の基本操作 3	ホルダーの作成 ファイルの複写・移動
第 4 回	プレゼンテーションソフト の基本操作	文字入力 背景画像設定 スライド作成
第 5 回		文字装飾 画像貼付け アニメーション効果
第 6 回	プレゼンテーションソフト 作品作成	企画 準備 構成の基本と要点
第 7 回		効果を出すための要素 発表者の注意
第 8 回	総合課題	レポートの作成と提出
第 9 回	表計算ソフトの基本操作	表計算ソフトの基本的な考え方
第 10 回	表計算ソフトの計算	計算式の書き方 計算式の複写と移動
第 11 回	表計算ソフトの書式と罫線	表を見易くするためのテクニック
第 12 回	表計算ソフトの関数	Sum Min If Vlookup Count などの関数
第 13 回	表計算ソフトのグラフ	表現技法
第 14 回	表計算ソフトの検索機能	データベースとしての操作
第 15 回	総合課題	レポートの作成と提出

教 科 目 名	グループワーク	担当教師名	小川 昌宏
	Group Work	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

公務員として職務を遂行するために必要な基本スキル（コミュニケーション力、問題解決力、企画力、法的知識、行政手続きなど）を身につける。ケーススタディやロールプレイを通じて、職場で直面する具体的な課題に対応する力を養成し公務員に求められる協働の精神をグループ活動で体得する。

[履修に必要なこと]

グループ活動や課題解決に主体的に参加する意欲と、他者の意見を受け入れ、共に最適解を模索する心構え。

[成績評価方法]

積極的な姿勢と提出課題、最終発表を通して総合的に評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	今後のスケジュール、方針、評価等
第 2 回	公務員の役割と倫理	公務員としての使命、守秘義務、法令遵守などの基礎知識。
第 3 回	コミュニケーションスキル① 傾聴	傾聴の技術を学び、住民対応のシミュレーションを実施。
第 4 回	コミュニケーションスキル② 説明力	行政文書の説明方法やプレゼン技術を実践。
第 5 回	問題解決スキル① 分析	ケーススタディで課題を発見し、原因を分析する手法を学ぶ。
第 6 回	問題解決スキル② 解決策の立案	チームで行政課題に対する解決策を考案、企画書を作成。
第 7 回	企画力① 目標設定と計画立案	企画を成功させるための目標設定とプロジェクト計画作成。
第 8 回	企画力② 説得と提案	提案力を鍛えるため、模擬会議を実施。
第 9 回	法的知識① 行政手続法	基本的な法規や行政手続の流れを理解する。
第 10 回	法的知識② 住民対応	住民相談やクレーム対応の基礎知識とロールプレイ。
第 11 回	グループプロジェクト①	地域課題を設定し、解決策をチームで考案。

	課題設定	
第 1 2 回	グループプロジェクト② 企画書作成	チームで企画書を作成し、フィードバックを受けて改善。
第 1 3 回	実務シミュレーション① 災害対応	災害時の初動対応をテーマにした模擬演習。
第 1 4 回	実務シミュレーション② 総合演習	各スキルを統合した複合ケーススタディ。
第 1 5 回	最終発表	各チームが企画案を発表。評価と講評を共有し、授業を総括。

教 科 目 名	政策立案基礎	担当教師名	小川 昌宏
	Policy Proposal Basis	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

登別市内で実施されている祭典やイベントについて学ぶ。そのうえで、学生が市民団体や行政機関に協力することで、どのように参画できるかを検討する。さらに、学生が考える政策により、新たな地域活性化に向けての意識と行動を促すことを目的とする。

[履修に必要なこと]

登別市や登別温泉街の歴史や伝統を知る姿勢が求められる。

[成績評価方法]

積極的な議論や課題の提出、グループ発表を総合的に評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	今後のスケジュール、方針、評価等
第 2 回	登別商工会議所青年部の取 り組み	登別商工会議所青年部の登別市への貢献を紹介
第 3 回		学生と登別商工会議所青年部の協働の検討・議論
第 4 回	地獄の谷の鬼花火	鬼花火の歴史や実施の様子を解説
第 5 回		学生の鬼花火参画の検討・議論
第 6 回	登別地獄まつり	登別地獄まつりの歴史や実施内容を解説
第 7 回		学生の地獄まつり参画の検討・議論
第 8 回	登別温泉湯まつり	登別温泉湯まつりの歴史や実施内容を解説
第 9 回		学生の登別温泉湯まつり参画の検討・議論
第 1 0 回	登別ブランド推進協議会	登別ブランド製品の紹介
第 1 1 回		学生が考える新たな登別ブランド製品の検討
第 1 2 回	インバウンドと登別温泉	外国人観光客による経済的メリットの検証
第 1 3 回	登別のオーバーツーリズム	外国人観光客による外部不経済の検証
第 1 4 回	政策立案の検討・発表準備	登別で学生が参画できる有効的な政策立案の議論
第 1 5 回	最終発表	グループ別に政策発表

教 科 目 名	プロジェクトマネジメント基礎	担当教師名	小川 昌宏
	Project Management Fundamentals	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

プロジェクトマネジャーとして、プロジェクトをリードする際に必要とされるリーダーシップについて理解する。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

積極性・提出物・期末試験の結果により総合的に評価する。

[教科書]

担当になったら知っておきたい「プロジェクトマネジメント」実践講座 伊藤大輔

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方及び評価方法
第 2 回	第 1 章【基 本】	基本知識、役立つ情報
第 3 回	第 2 章【目標設定】	目標設定の重要性に関する知識
第 4 回	第 3 章【計 画】	計画知識、要求事項収集、スコープ、WBS、アクティビティの順序設定、ガントチャート、責任分担、スケジュール、コスト、リスク
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	第 4 章【実 行】	実行知識、チームビルディング、キックオフミーティング、コミュニケーション、進捗確認・分析、是正措置・予防処置・変更要求、レポートニング、プロジェクト終結
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	第 5 章【思 考】	マネジメント思考知識、リーダーシップ、異文化コミュニケーション、メンタルヘルス
第 12 回		
第 13 回	第 6 章【実 践】	実践的ケーススタディ
第 14 回		
第 15 回	期末試験	期末試験

教 科 目 名	ヒューマンモラル	担当教師名	仙名 伸行
	Human Morality	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

公務員学科というチームの一員として、各自の役割や周囲への配慮を徹底する。また、公務員に必要な倫理観やモラルについて意識させ、社会の奉仕者としての素地を育成することを目的とする。

[履修に必要なこと]

公務員に必要な倫理観を意識する姿勢が重要である。

[成績評価方法]

レポートにより評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	人格の4分類	性格の相違を可視化した他者理解
第 2 回	チームビルディング	個人戦ではなく団体戦のメリットを理解
第 3 回	チームにおける自分の役割	公務員学科における各自の役割を認識
第 4 回	対人関係論	ケーススタディの実施
第 5 回	アンガーマネジメント	怒りの可視化と一次感情
第 6 回	公務員の不祥事①	道教委発表の公立教諭の懲戒処分
第 7 回	公務員の不祥事②	行政機関のパワーハラスメント
第 8 回	公務員の不祥事③	特捜機関の強引な取り調べ
第 9 回	公務員の殉職①	石狩北部地区消防組合消防士殉職の事例
第 10 回	公務員の殉職②	中野警察署警察官射殺事件の事例
第 11 回	カスタマーハラスメント	札幌市役所におけるカスハラ対策
第 12 回	ジェンダー平等	松山市議会におけるLGBTQ市議の事例
第 13 回	日本の凶悪事件と犯人像	サイコパスな凶悪事件の紹介
第 14 回	犯罪心理	犯罪者の心理を考察
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	公共実務演習 I	担当教師名	富永・仙名
	Public Practical Exercises I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	0.5単位・15時間

[授業の目的・方針]

近年増加している地震や津波被害を想定し、防災や減災に向けた行政機関や公安機関の具体的な取り組みを学習する。また、避難所の開設や避難所生活を模擬体験するために防災キャンプを実施し、公務員に必要な資質を身につけさせる。

[履修に必要なこと]

震災に対する意識をもち、より有効な防災や減災の具体策を意識することが重要である。

[成績評価方法]

防災キャンプの取り組みや、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	自衛隊による災害対策	自衛隊による災害発生時の支援体制を学習
第 2 回	登別市における災害対策	登別市による災害発生時の支援体制を学習
第 3 回	防災キャンプ	防災キャンプの意義・目的
第 4 回		防災キャンプの諸準備・グループワーク
第 5 回		防災キャンプの諸活動・ランタンや非常食の確認
第 6 回		防災キャンプの諸活動・段ボールベッド設営
第 7 回		防災キャンプの諸活動・非常食準備
第 8 回		防災キャンプの諸活動・宿泊準備
第 9 回		防災キャンプの諸活動・後片付け
第 10 回		防災キャンプの諸活動・反省会
第 11 回		防災キャンプの諸活動・撤収作業
第 12 回		救命救急講習
第 13 回	登別市消防署による講習	
第 14 回	登別市消防署による講習	
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	イベントプランニング A	担当教師名	富永・仙名
	Event Planning A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

毎年8月に開催されている「登別地獄まつり」において、綿密な計画に基づいた学生の奉仕的立場による後方支援を実施し、イベントに貢献することを目的とする。将来公務員を目指す学生に対して、奉仕の気持ちや使命感の醸成につなげたい。

[履修に必要なこと]

地域に奉仕する気持ちで、高いモチベーションで後方支援に参画する姿勢が重要である。

[成績評価方法]

レポート

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュール、方針、評価等
第 2 回	後方支援の計画①	日程・後方支援の行動計画
第 3 回	後方支援の計画②	目標の設定
第 4 回	登別地獄まつり参加	登別地獄まつり後方支援
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	事後の振り返り	後方支援の成果についての検証
第 12 回		後方支援の反省点についての検証
第 13 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	インターンシップ A	担当教師名	富永・仙名
	Internship A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・前期	単位・時間	0.5単位・15時間

[授業の目的・方針]

自衛隊室蘭地域事務所及び幌別駐屯地への職場訪問やインターンシップを実施することで、自衛隊組織に関する理解を深めることを目的とする。一般曹候補生と自衛官候補生の違いを理解し、駐屯地内での業務や生活を体験し職業観を具体的なものにする。

[履修に必要なこと]

陸上自衛隊の自衛官としての職業観を学ぶ姿勢が重要である。

[成績評価方法]

グループ発表で評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュールの確認等
第 2 回	室蘭地域事務所訪問	一般曹候補生と自衛官候補生の相違点
第 3 回		陸海空の各職域の理解と勤務地の詳細
第 4 回		質疑応答
第 5 回	幌別駐屯地 インターンシップ	幌別駐屯地・施設群の概要説明
第 6 回		訓練見学
第 7 回		駐屯地内の昼食体験
第 8 回		部隊訓練見学
第 9 回		宿泊棟見学
第 10 回		質疑応答
第 11 回	振り返り	グループワーク
第 12 回	報告会準備	報告の準備
第 13 回		報告の準備
第 14 回		報告の準備
第 15 回	報告会	インターンシップ報告会

教科目名	行政研究 I	担当教師名	富永 史人
	Administrative Research I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響を研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、社会で生活する一員としての責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

課題提出、レポート提出など総合的に判断し評価する。

[成績評価方法]

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	行政研究課題① 「郷土研究」	各々の出身地をテーマにそこが抱える問題や地域で行われている活動などを分析研究する
第 3 回		
第 4 回		
第 5 回	行政研究課題② 「北海道研究」	北海道が抱える問題や行われている施策などを分析研究する
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回	行政研究課題③ 「登別市研究」	1年間在校生として住み暮らした視点で登別市の抱える問題や行われている施策・活動などを研究する
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	レポート提出	レポート提出
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回		

教科目名	フィジカルトレーニング I	担当教師名	三谷 直人
	Physical Training I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

主として警察官や消防士などの公安系公務員の採用に関し、課される体力試験のさまざまな種目を反復練習し、基礎体力の養成と、筋力の向上を図り、合格を目指す。

[履修に必要なこと]

運動しやすい服装

[成績評価方法]

各項目の測定結果を評価する。また全体的な総合評価によって行う。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	はじめに	授業の進め方
第 2 回	各種目の理解	マシンの利用方法など
第 3 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 4 回		
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	測定	各種試験項目の中間測定
第 8 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回	測定	各種試験項目の最終測定

教 科 目 名	判断推理Ⅱ	担当教師名	富永 史人
	Judgment Reasoning II	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

判断推理Ⅰでの基本的なことがらを踏まえ、判断推理および空間把握の各種問題を解き、解法力を養うものとする。様々な問題パターンを学習し1次試験突破の仕上げをする。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

成績は、レポート・期末試験の結果で評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 判断推理 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回		命題と理論
第 3 回		トーナメントとリーグ戦
第 4 回		文章問題 (図表を用いる問題)
第 5 回		文章問題 (ウソに関する問題)
第 6 回		方位・位置に関する問題
第 7 回		方位・位置に関する問題
第 8 回		順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第 10 回		折り紙とサイコロ
第 11 回		展開図と軌跡
第 12 回		展開図と軌跡
第 13 回		平面図形と立体図形
第 14 回		投影図と回転体
第 15 回	期末試験	試験

教 科 目 名	数学・数的推理Ⅱ	担当教師名	大野 賢二
	Mathematical Inferences II	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

数学・数的推理Ⅰで最重点事項に絞った分、1次試験合格に向けて幅広く体系的な知識の習得を主眼とする。前年同様単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 実務教育出版

[参考書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理 TAC

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	数的推理	三角形と四角形・三平方の定理
第 2 回		円・面積
第 3 回		立体図形
第 4 回		総合問題
第 5 回	初級スーパー過去問ゼミを 活用した実践演習	数の計算
第 6 回		素因数分解
第 7 回		約数と倍数
第 8 回		商と余り
第 9 回		記数法
第 10 回		数量問題
第 11 回		覆面算・魔方陣
第 12 回		数列
第 13 回		1次方程式
第 14 回		連立方程式
第 15 回	期末試験	5択選択式の筆記試験

教 科 目 名	人文科学 I	担当教師名	仙名 伸行
	Humanities I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

人文科学の主要分野である地理・倫理に関わる分野を学習する。用語の暗記と理解を兼ね備えた習得を目的とし、複雑な選択肢に対し考える能力を養成する。また、位置的な空間科学や人文的な思想科学についても身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

復習を週内におこない、知識を習得する姿勢が重要である。

[成績評価方法]

期末試験・公務員模試(実務教育出版)の結果において総合的に評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学 TAC刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 人文科学 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	地理	地図の図法
第 2 回		世界の地形①
第 3 回		世界の地形②
第 4 回		世界の気候①
第 5 回		世界の気候②
第 6 回		世界の産業
第 7 回		各国地誌・人種・言語
第 8 回		人口問題・都市問題・環境問題
第 9 回		日本の地誌
第 10 回	倫理・社会	労働関係
第 11 回		青年期の心理
第 12 回		社会集団と現代社会の構造
第 13 回		日本東洋の思想
第 14 回		西洋の思想
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教 科 目 名	社会科学 I	担当教師名	仙名 伸行
	Social Sciences I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

社会科学の主要分野である政治・経済に関わる分野を学習する。用語の暗記と理解を兼ね備えた習得を目的とし、複雑な選択肢に対し考える能力を養成する。また、公務員に必要な法律の理解や行政の仕組みについても身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

復習を週内におこない、知識を習得する姿勢が重要である。

[成績評価方法]

期末試験・公務員模試(実務教育出版)の結果において総合的に評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 社会科学 TAC 刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 社会科学 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	政治	民主政治の基本原理
第 2 回		日本国憲法の原則
第 3 回		国会
第 4 回		内閣・裁判所
第 5 回		地方自治
第 6 回		政党政治と選挙
第 7 回		国際社会と国際政治
第 8 回	経済	経済の発達
第 9 回		現代の市場と企業
第 10 回		経済の変動
第 11 回		金融と財政の役割
第 12 回		国際経済
第 13 回		労働関係の課題
第 14 回		国民の福祉
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教 科 目 名	自然科学 I	担当教師名	富永 史人
	Natural Sciences I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

1次試験突破のために最頻出事項に絞って授業を行う。9月までの短期間での習得のためには学生各人の努力が欠かせないが、単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学 TAC刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 自然科学 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	物理, 化学	力のはたらき, 物質の構造
第 2 回	生物, 地学	細胞, 地球の大気と海洋
第 3 回	物理, 化学	力とエネルギー, 気体の法則
第 4 回	生物, 地学	生殖と発生, 地球の構造
第 5 回	物理, 化学	熱と温度・気体, 溶液の性質と化学反応
第 6 回	生物, 地学	遺伝と生物の進化, 火成岩と堆積岩
第 7 回	物理, 化学	波動, 酸・塩基・塩
第 8 回	生物, 地学	物質代謝とエネルギー代謝, 変成岩と造山運動
第 9 回	物理, 化学	電気, 酸化と還元
第 10 回	生物, 地学	生体調節とホルモン, 地球の歴史
第 11 回	物理, 化学	電気, 無機物質
第 12 回	生物, 地学	人体の構造, 地球と太陽系
第 13 回	物理, 化学	電流と磁界, 有機化合物
第 14 回	生物, 地学	生態系と生物集団, 恒星
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教 科 目 名	文章理解Ⅱ	担当教師名	藤谷 江理子
	Article Comprehension II	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

公務員試験の文章理解は、読解力と論理的思考力を評価するためのものである。正確な情報を読み取り、論理的に判断する能力が問われ、行政業務に必要な基礎的な理解力と判断力を確認することを目的とする。

[履修に必要なこと]

新聞の社説やコラムなど、普段から論理的な文章を読んでおくこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 文章理解 実務教育出版

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	国語	現代文－要旨把握①
第 2 回		現代文－要旨把握②
第 3 回		現代文－内容把握①
第 4 回		現代文－内容把握②
第 5 回		現代文－空欄補充①
第 6 回		現代文－空欄補充②
第 7 回		現代文－文章整序①
第 8 回		現代文－文章整序②
第 9 回	英語	英文－要旨把握
第 1 0 回		英文－内容把握
第 1 1 回		英文－空欄補充
第 1 2 回		英文－文章整序
第 1 3 回	古典	古文
第 1 4 回		漢文
第 1 5 回	期末試験	記述式による筆記試験

教科目名	資料解釈 I	担当教師名	大野 賢二
	Data Interpretation I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

資料解釈では、1次試験突破に必要な構成比・増減率・指数・特殊なグラフといった分野を学習する。表やグラフを読みとり論理的に思考する能力を反復してトレーニングする。短時間で効率的に解答するスキルの定着を目指す。

[履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験・小テストにおいて評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 文章理解・資料解釈 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	資料解釈の基礎	割合計算①
第 2 回		割合計算②
第 3 回	構成比	構成比計算公式
第 4 回		構成比計算公式をつかった例題
第 5 回		構成比計算実践
第 6 回		表グラフの特性
第 7 回	増減率	増加率の考え方
第 8 回		増加率の計算
第 9 回		減少率の計算
第 10 回		増減混合の計算
第 11 回	指数	指数計算公式
第 12 回		省略算
第 13 回		指数計算実践
第 14 回	特殊なグラフ	産業別人口構成図の見方
第 15 回	期末試験	5択選択式の筆記試験

教 科 目 名	パソコン演習Ⅱ	担当教師名	手塚 一志
	Computer Exercises II	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

公務員としての事務処理における正確さや責任感及び完遂力を伸ばすために、パソコン演習Ⅰをもとに、より進んだ使い方を習得する。問題に合致した機能を利用し完成できるようにするとともに、データ処理の大まかな流れを把握できるようにする。

[履修に必要なこと]

表計算ソフトについて基本的な操作ができること。

[成績評価方法]

課題提出・期末試験などを総合的に判断し評価する。

[教科書]

プリントを適宜配布

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	データベースの基本	データベースの基本的な考え方
第 2 回	データベースの基本操作	データベースソフトの基本的な操作
第 3 回	テーブルの作成方法	リレーショナルを考慮して作成
第 4 回	テーブルの操作方法	データベースとしての基本的な操作
第 5 回	クエリーの作成方法 1	選択・演算クエリーの作成
第 6 回	クエリーの作成方法 2	パラメータ・アクションクエリーの作成
第 7 回	フォームの作成方法	入力フォーム作成し整える
第 8 回	総合演習 1	レポートの作成と提出
第 9 回	データベースの基本設計	基本的な考え方と方針の作成
第 10 回	テーブルの作成	リレーショナルを考慮して作成
第 11 回	フォームの作成	サブフォームの利用
第 12 回	クエリーの作成	選択・演算クエリーの作成
第 13 回	レポートの作成	パラメータ・アクションクエリーの作成
第 14 回	マクロの利用	作業のマクロ化
第 15 回	総合課題 2	レポートの作成と提出

教 科 目 名	社会調査演習	担当教師名	仙名 伸行
	Social Survey Practice	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

社会調査には、文献調査やデータ分析、フィールドワークといった手法があることを理解させる。また、身近な地域における地域環境を自分の目で見えて、調査に基づいた分析をし、新たな展望である考察を見いだすことを目的とする。

[履修に必要なこと]

最終的に考察を主張することを意識して、社会調査に取り組むことが重要である。

[成績評価方法]

社会調査報告により総合的に評価する。

[教科書]

適宜資料を配付する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	デジタル地図を用いた 社会調査	幌別駅周辺における市街地の形成
第 3 回		登別駅周辺における市街地の形成
第 4 回		登別温泉街における市街地の形成
第 5 回		登別新生町周辺における市街地の形成
第 6 回		鶯別駅周辺における市街地の形成
第 7 回	グループワーク	登別市街地の再生に向けた考察の思案
第 8 回	報告書提出	社会調査報告の提出①
第 9 回	デジタル地図を用いた社会調査	カルルス温泉における市街地の形成
第 10 回	文献調査	カルルス温泉の歴史認識
第 11 回		カルルス温泉の現況把握
第 12 回		カルルス温泉の課題把握
第 13 回	フィールドワーク	カルルス温泉のフィールドワーク
第 14 回	グループワーク	カルルス温泉の再生に向けた考察の思案
第 15 回	報告書提出	社会調査報告の提出②

教 科 目 名	インターンシップB	担当教師名	富永・仙名
	Internship B	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

登別市役所をはじめとする行政機関でインターンシップをおこない、実際の業務や地域住民に対する行政サービスの提供を経験する。公務員としての具体的な職業観を身につけ、学生各自における適性の有無を確認することを目的とする。

[履修に必要なこと]

公務員としての業務を体験し、具体的な職業観を身につけていることが重要である。

[成績評価方法]

受け入れ先の評価・レポート等で評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュールの確認等
第 2 回	概要説明	実習先の概要について調査します
第 3 回	心構え	実習先での行動の注意点について学習します
第 4 回	インターンシップ	職場で実習
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回	報告会準備	報告の準備
第 15 回	報告会	報告会の実施

教 科 目 名	公務員試験対策A	担当教師名	仙名 伸行
	Public Servant Exam Preparation A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

公務員試験 1次試験に向けた教養試験対策を、模擬試験を用いておこなう。人文科学や社会科学、文章理解、判断推理、数的推理など、総合的な教養の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

公務員模擬試験の平均点により評価する。

[教科書]

公務員模擬試験 TAC 版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公務員模擬試験の実施	第 1 回公務員模擬試験
第 2 回		第 2 回公務員模擬試験
第 3 回		第 3 回公務員模擬試験
第 4 回		第 4 回公務員模擬試験
第 5 回		第 5 回公務員模擬試験
第 6 回		第 6 回公務員模擬試験
第 7 回		第 7 回公務員模擬試験
第 8 回		第 8 回公務員模擬試験
第 9 回		第 9 回公務員模擬試験
第 10 回		第 10 回公務員模擬試験
第 11 回	公務員模擬試験解説	公務員模擬試験の解説授業(第 1～2 回)
第 12 回		公務員模擬試験の解説授業(第 3～4 回)
第 13 回		公務員模擬試験の解説授業(第 5～6 回)
第 14 回		公務員模擬試験の解説授業(第 7～8 回)
第 15 回		公務員模擬試験の解説授業(第 9～10 回)

教 科 目 名	公務員技術試験対策A	担当教師名	富永 史人
	Public Servant Technical Exam Preparation A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

国家一般職（技術北海道）の1次試験に向けた専門試験対策をおこなう。数学や物理、情報、土木についての総合的な知識の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを使用する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	工業数学	数量表現－三角関数
第 2 回		数量表現－指数関数
第 3 回		数量表現－複素数
第 4 回		数量表現－ベクトル
第 5 回		数量表現－行列と行列式
第 6 回		数量表現－三角関数
第 7 回		数量表現－数列と級数
第 8 回		微分法－関数の極限
第 9 回		微分法－不定形の極限
第 10 回		微分法－関数の展開と近似
第 11 回		微分法－偏微分法
第 12 回		積分法－不定積分と原始関数
第 13 回		積分法－不定積分法
第 14 回		積分法－定積分
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教 科 目 名	公務員試験対策B	担当教師名	仙名 伸行
	Public Servant Exam Preparation B	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

公務員試験 1次試験に向けた教養試験対策を、模擬試験を用いておこなう。人文科学や社会科学、文章理解、判断推理、数的推理など、総合的な教養の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

公務員模擬試験の平均点により評価する。

[教科書]

公務員模擬試験 TAC 版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公務員模擬試験の実施	第 11 回公務員模擬試験
第 2 回		第 12 回公務員模擬試験
第 3 回		第 13 回公務員模擬試験
第 4 回		第 14 回公務員模擬試験
第 5 回		第 15 回公務員模擬試験
第 6 回		第 16 回公務員模擬試験
第 7 回		第 17 回公務員模擬試験
第 8 回		第 18 回公務員模擬試験
第 9 回		第 19 回公務員模擬試験
第 10 回		第 20 回公務員模擬試験
第 11 回	公務員模擬試験解説	公務員模擬試験の解説授業(第 11～12 回)
第 12 回		公務員模擬試験の解説授業(第 13～14 回)
第 13 回		公務員模擬試験の解説授業(第 15～16 回)
第 14 回		公務員模擬試験の解説授業(第 17～18 回)
第 15 回		公務員模擬試験の解説授業(第 19～20 回)

教 科 目 名	公務員技術試験対策B	担当教師名	富永 史人
	Public Servant Technical Exam Preparation B	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

国家一般職（技術北海道）の1次試験に向けた専門試験対策をおこなう。数学や物理、情報、土木についての総合的な知識の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを使用する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	工業数学	積分法－定積分法
第 2 回		積分法－定積分の応用
第 3 回		積分法－重積分
第 4 回		微分方程式－常微分方程式
第 5 回		微分方程式－1階の常微分方程式の解法
第 6 回		微分方程式－高階常微分方程式の解法
第 7 回	工業物理	力といろいろな圧力－質量と重量の関係
第 8 回		力といろいろな圧力－重力による加速度
第 9 回		力といろいろな圧力－質量と力
第 1 0 回		力といろいろな圧力－圧力の単位
第 1 1 回		力といろいろな圧力－パスカルの原理
第 1 2 回		力といろいろな圧力－液体の圧力
第 1 3 回		力といろいろな圧力－液体の体積の測りかた
第 1 4 回		力といろいろな圧力－海水の圧力
第 1 5 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教科目名	イベントプランニングB	担当教師名	富永・仙名
	Event Planning B	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

毎年2月に開催されている「登別温泉湯まつり」において、綿密な計画に基づいた学生の奉仕的立場による後方支援を実施し、イベントに貢献することを目的とする。将来公務員を目指す学生に対して、奉仕の気持ちや使命感の醸成につなげたい。

[履修に必要なこと]

地域に奉仕する気持ちで、高いモチベーションで後方支援に参画する姿勢が重要である。

[成績評価方法]

レポート

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュール、方針、評価等
第 2 回	後方支援の計画①	日程・後方支援の行動計画
第 3 回	後方支援の計画②	目標の設定
第 4 回	登別温泉湯まつり参加	登別温泉湯まつり後方支援
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	事後の振り返り	後方支援の成果についての検証
第 12 回		後方支援の反省点についての検証
第 13 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	イベントプランニングC	担当教師名	富永・仙名
	Event Planning C	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・1年・後期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

毎年2月に開催されている「鬼まつり」において、綿密な計画に基づいた学生の奉仕的立場による後方支援を実施し、イベントに貢献することを目的とする。将来公務員を目指す学生に対して、奉仕の気持ちや使命感の醸成につなげたい。

[履修に必要なこと]

地域に奉仕する気持ちで、高いモチベーションで後方支援に参画する姿勢が重要である。

[成績評価方法]

レポート

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュール、方針、評価等
第 2 回	後方支援の計画①	日程・後方支援の行動計画
第 3 回	後方支援の計画②	目標の設定
第 4 回	鬼まつり参加	鬼まつり後方支援
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	事後の振り返り	後方支援の成果についての検証
第 12 回		後方支援の反省点についての検証
第 13 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	行政研究Ⅱ	担当教師名	富永 史人
	Administrative Research II	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響を研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、今後それらを担っていく社会の一員としての自覚と責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	行政研究課題① 「他府県研究」	他府県をテーマにそこが抱える問題や地域で行われている活動などを分析研究する
第 3 回		
第 4 回		
第 5 回	行政研究課題② 「日本研究」	日本が抱える問題や行われている施策などを分析研究する
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回	行政研究課題③ 「登別市研究Ⅱ」	2年間在校生として住み暮らした視点で登別市の抱える問題や行われている施策・活動などを研究する
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回	レポート提出	レポート提出
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回		

教科目名	フィジカルトレーニングⅡ Physical Training II	担当教師名	三谷 直人
科・年・期	公務員学科・2年・前期	方法・必選	演習・選択
		単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

主として警察官や消防士などの公安系公務員の採用に関し、課される体力試験のさまざまな種目を反復練習し、基礎体力の養成と、筋力の向上を図り、合格を目指す。

[履修に必要なこと]

運動しやすい服装

[成績評価方法]

各項目の測定結果を評価する。また全体的な総合評価によって行う。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	はじめに	授業の進め方
第 2 回	各種目の理解	マシンの利用方法など
第 3 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 4 回		
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	測定	各種試験項目の中間測定
第 8 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回	測定	各種試験項目の最終測定

教 科 目 名	判断推理Ⅲ	担当教師名	富永 史人
	Judgment Reasoning III	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	6単位・90時間

[授業の目的・方針]

公務員試験における判断推理系の問題に焦点を当てて、問題解法のために様々な問題パターンの解答方法を演習し1次試験突破の応用力を身につける。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

成績は、レポート・期末試験の結果で評価する。

[教科書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 判断推理 実務教育出版

[参考書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC刊

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回		命題と論理
第 3 回		試合と勝敗
第 4 回		文章問題 (図表を用いる問題)
第 5 回		文章問題 (ウソに関する問題)
第 6 回		方位・位置に関する問題
第 7 回		方位・位置に関する問題
第 8 回		順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第 10 回		折り紙とサイコロ
第 11 回		展開図と軌跡
第 12 回		展開図と軌跡
第 13 回		平面図形と立体図形
第 14 回		投影図と回転体
第 15 回		期末試験

教 科 目 名	数学・数的推理Ⅲ	担当教師名	大野 賢二
	Mathematical Inferences III	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

数学・数的推理Ⅰの授業内容を踏まえ、公務員模擬試験の解き直しと解説授業をおこなう。一度解いた問題を確実に習得する目的がある。

[履修に必要なこと]

公務員模擬試験を持参し、復習に努めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員模擬試験 TAC刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公務員模擬試験(数的)解説	第 1 回公務員模試解説授業
第 2 回		第 2 回公務員模試解説授業
第 3 回		第 3 回公務員模試解説授業
第 4 回		第 4 回公務員模試解説授業
第 5 回		第 5 回公務員模試解説授業
第 6 回		第 6 回公務員模試解説授業
第 7 回		第 7 回公務員模試解説授業
第 8 回		第 8 回公務員模試解説授業
第 9 回		第 9 回公務員模試解説授業
第 1 0 回		第 1 0 回公務員模試解説授業
第 1 1 回		第 1 1 回公務員模試解説授業
第 1 2 回		第 1 2 回公務員模試解説授業
第 1 3 回		第 1 3 回公務員模試解説授業
第 1 4 回		第 1 4 回公務員模試解説授業
第 1 5 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教 科 目 名	人文科学Ⅱ	担当教師名	富永 史人
	Humanities II	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

人文科学の主要分野である地理・日本史・世界史に関わる総復習をする。単に暗記をするだけの授業ではなく、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、思想や市民運動を扱うため、社会人に必要な人としての考え方を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験において評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学 TAC 刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 人文科学 実務教育出版

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	日本史	原始、古代
第 2 回		中世
第 3 回		近世
第 4 回		近代・現代
第 5 回		日本の文学・芸術・哲学
第 6 回	世界史	古代文明の成立
第 7 回		ヨーロッパ世界の成立
第 8 回		近代ヨーロッパ
第 9 回		二つの世界大戦
第 10 回		世界の文学・芸術・哲学
第 11 回	地理	地形
第 12 回		気候
第 13 回		農業
第 14 回		エネルギー資源・鉱工業
第 15 回	期末試験	試験

教 科 目 名	社会科学Ⅱ	担当教師名	仙名 伸行
	Social Sciences II	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

社会科学の主要分野である政治・経済に関わる総復習をする。単に暗記をするだけの授業ではなく、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、日本国憲法や様々な法律を扱うため、公務員に必要な法律についても理解してもらいたい。

[履修に必要なこと]

復習中心の学習意欲を求める。

[成績評価方法]

期末試験において評価する。

[教科書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 社会科学 実務教育出版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	政治	憲法の基本原理
第 2 回		基本的人権
第 3 回		国会・内閣・裁判所
第 4 回		地方自治
第 5 回		政治思想
第 6 回		各国の政治制度
第 7 回		国際連合
第 8 回	経済	需要と供給・市場経済
第 9 回		国民経済計算
第 10 回		金融政策とインフレーション
第 11 回		財政政策と租税制度
第 12 回		日本の経済事情
第 13 回		世界の経済事情
第 14 回		少子高齢化社会の経済活動
第 15 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教 科 目 名	自然科学Ⅱ	担当教師名	手塚 一志
	Natural Sciences II	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

自然科学Ⅰで最重点事項に絞った分、1次試験合格に向けて幅広く体系的な知識の習得を主眼とする。前年同様単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 自然科学 実務教育出版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	地学	地球の大気と海洋
第 2 回		天気の変化
第 3 回		太陽系と宇宙
第 4 回		地球の構成と歴史
第 5 回	化学	基礎理論
第 6 回		物質の変化
第 7 回		無機物質
第 8 回		有機物質
第 9 回		MO L 計算
第 1 0 回	生物	生物体の構造と機能
第 1 1 回		代謝とエネルギー
第 1 2 回		生物の反応と調節
第 1 3 回		生殖と遺伝
第 1 4 回		生物の集団と歴史
第 1 5 回	期末試験	5 択選択式の筆記試験

教 科 目 名	文章理解Ⅲ	担当教師名	藤谷 江理子
	Article Comprehension III	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

公務員試験の文章理解は、読解力と論理的思考力を評価するためのものである。正確な情報を読み取り、論理的に判断する能力が問われ、行政業務に必要な基礎的な理解力と判断力を確認することを目的とする。

[履修に必要なこと]

新聞の社説やコラムなど、普段から論理的な文章を読んでおくこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員模擬試験 TAC 刊

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公務員模擬試験(文章)解説	第 1 回公務員模試解説授業
第 2 回		第 2 回公務員模試解説授業
第 3 回		第 3 回公務員模試解説授業
第 4 回		第 4 回公務員模試解説授業
第 5 回		第 5 回公務員模試解説授業
第 6 回		第 6 回公務員模試解説授業
第 7 回		第 7 回公務員模試解説授業
第 8 回		第 8 回公務員模試解説授業
第 9 回		第 9 回公務員模試解説授業
第 1 0 回		第 1 0 回公務員模試解説授業
第 1 1 回		第 1 1 回公務員模試解説授業
第 1 2 回		第 1 2 回公務員模試解説授業
第 1 3 回		第 1 3 回公務員模試解説授業
第 1 4 回		第 1 4 回公務員模試解説授業
第 1 5 回		期末試験

教 科 目 名	資料解釈Ⅱ	担当教師名	仙名 伸行
	Data Interpretation II	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

資料解釈の主要分野である構成比・増減率・指数・特殊なグラフに関わる総復習をする。表やグラフを読みとり論理的に思考する能力を反復してトレーニングする。短時間で効率的に解答するスキルの定着を目標とする。

[履修に必要なこと]

復習を中心とする姿勢が重要である。

[成績評価方法]

期末試験において評価する。

[教科書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 文章理解・資料解釈 実務教育出版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	初級スーパー過去問ゼミ 資料解釈	数表－実数
第 2 回		数表－割合
第 3 回		数表－指数
第 4 回		数表－構成比
第 5 回		数表－増加率
第 6 回		数表－減少率
第 7 回		グラフ－実数
第 8 回		グラフ－割合
第 9 回		グラフ－指数
第 1 0 回		グラフ－構成比
第 1 1 回		グラフ－増加率
第 1 2 回		グラフ－減少率
第 1 3 回		特殊な図表
第 1 4 回		その他
第 1 5 回		期末試験

教 科 目 名	まちづくり計画 Town Development Plan	担当教師名	仙名 伸行
科・年・期	公務員学科・2年・前期	方法・必選	演習・必修
		単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

日本国内における都市問題にふれ、都市問題の解消方法を検証する。また、持続可能な社会に向けての効果的な取り組みを学ぶことを目的にする。

[履修に必要なこと]

行政機関や公安機関が関わるまちづくりに注視してもらいたい。

[成績評価方法]

レポートにより評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	国内の都市問題	財政破綻した夕張市
第 2 回		旧産炭地である三笠市の取り組み
第 3 回		豪雪地帯である美唄市での雪利用
第 4 回		壮瞥町のエシカルな循環
第 5 回		平均年収が高い猿払村の二重構造
第 6 回		限界集落化した穂別富内地区
第 7 回		ジェンダーギャップ解消に動く豊岡市
第 8 回	持続可能な社会に向けて	渋滞解消策としての夜間のゴミ収集
第 9 回		サーモンの漁港養殖事業
第 10 回		外来種魚類の再活用
第 11 回		食品ロス問題解消の取り組み
第 12 回		太陽光パネル設置の弊害
第 13 回		廃温泉の再利用
第 14 回		少年犯罪と東横キッズ
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	公共実務演習Ⅱ Public Practical Exercises II	担当教師名	富永・仙名
科・年・期	公務員学科・2年・前期	方法・必選	演習・選択
		単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

毎年8月に開催されている「全国大学政策フォーラム in 登別」に増加し、テーマに沿った登別市の新たな展望について研究発表をおこない、政策提言をすることを目標とする。また、他大学の学生との交流の中で、広い知見を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

実現可能でこれまでみられない新しい政策の発表を期待する。

[成績評価方法]

政策発表において評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	発表準備	登別市内の現状把握
第 2 回		登別市内のフィールドワーク
第 3 回		他都市での先行事例調査
第 4 回	全国大学政策フォーラム In のぼりべつ参加	会場設営・事前準備
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		他大学学生との交流
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		他大学の学生による政策提言の視聴
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回		政策提言研究発表

教 科 目 名	インターンシップC	担当教師名	富永・仙名
	Internship C	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	0.5単位・15時間

[授業の目的・方針]

学生本人が希望する行政機関でインターンシップをおこない、実際の業務や地域住民に対する行政サービスの提供を経験する。公務員としての具体的な職業観を身につけ、学生各自における適性の有無を確認することを目的とする。

[履修に必要なこと]

公務員としての業務を体験し、具体的な職業観を身につけていることが重要である。

[成績評価方法]

受け入れ先の評価・レポート等で評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュールの確認等
第 2 回	概要説明	実習先の概要について調査します
第 3 回	心構え	実習先での行動の注意点について学習します
第 4 回	インターンシップ	職場で実習
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回	報告会準備	報告の準備
第 15 回	報告会	報告会の実施

教 科 目 名	公務員試験対策C	担当教師名	仙名 伸行
	Public Servant Exam Preparation C	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

公務員試験1次試験に向けた教養試験対策を、模擬試験を用いておこなう。人文科学や社会科学、文章理解、判断推理、数的推理など、総合的な教養の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

公務員模擬試験の平均点により評価する。

[教科書]

公務員模擬試験 TAC 版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第1回	公務員模擬試験の実施	第1回公務員模擬試験
第2回		第2回公務員模擬試験
第3回		第3回公務員模擬試験
第4回		第4回公務員模擬試験
第5回		第5回公務員模擬試験
第6回		第6回公務員模擬試験
第7回		第7回公務員模擬試験
第8回		第8回公務員模擬試験
第9回		第9回公務員模擬試験
第10回		第10回公務員模擬試験
第11回	公務員模擬試験解説	公務員模擬試験の解説授業(第1～2回)
第12回		公務員模擬試験の解説授業(第3～4回)
第13回		公務員模擬試験の解説授業(第5～6回)
第14回		公務員模擬試験の解説授業(第7～8回)
第15回		公務員模擬試験の解説授業(第9～10回)

教 科 目 名	公務員技術試験対策C	担当教師名	富永 史人
	Public Servant Technical Exam Preparation C	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

国家一般職（技術北海道）の1次試験に向けた専門試験対策をおこなう。数学や物理、情報、土木についての総合的な知識の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを使用する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	工業物理	力といろいろな圧力ー浮力・密度
第 2 回		力といろいろな圧力ー比重と体積と質量
第 3 回		力といろいろな圧力ーボイルの法則
第 4 回		力のつりあいー作用と反作用
第 5 回		力のつりあいー力の平行四辺形
第 6 回		力のつりあいー1点に働く2力
第 7 回		力のつりあいー力の分解
第 8 回		力のつりあいー斜面上の物体に働く力
第 9 回		力のつりあいー斜面上の物体を引き上げる
第 10 回		力のつりあいー摩擦力
第 11 回		力のモーメントー力のモーメントの方向
第 12 回		力のモーメントーテコの2つのモーメント
第 13 回		力のモーメントー定滑車・動滑車
第 14 回		力のモーメントー重心
第 15 回	期末試験	5択選択式の筆記試験

教 科 目 名	公務員試験対策D	担当教師名	仙名 伸行
	Public Servant Exam Preparation D	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

公務員試験 1次試験に向けた教養試験対策を、模擬試験を用いておこなう。人文科学や社会科学、文章理解、判断推理、数的推理など、総合的な教養の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

公務員模擬試験の平均点により評価する。

[教科書]

公務員模擬試験 TAC 版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公務員模擬試験の実施	第 11 回公務員模擬試験
第 2 回		第 12 回公務員模擬試験
第 3 回		第 13 回公務員模擬試験
第 4 回		第 14 回公務員模擬試験
第 5 回		第 15 回公務員模擬試験
第 6 回		第 16 回公務員模擬試験
第 7 回		第 17 回公務員模擬試験
第 8 回		第 18 回公務員模擬試験
第 9 回		第 19 回公務員模擬試験
第 10 回		第 20 回公務員模擬試験
第 11 回	公務員模擬試験解説	公務員模擬試験の解説授業(第 11～12 回)
第 12 回		公務員模擬試験の解説授業(第 13～14 回)
第 13 回		公務員模擬試験の解説授業(第 15～16 回)
第 14 回		公務員模擬試験の解説授業(第 17～18 回)
第 15 回		公務員模擬試験の解説授業(第 19～20 回)

教 科 目 名	公務員技術試験対策D	担当教師名	富永 史人
	Public Servant Technical Exam Preparation D	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

国家一般職（技術北海道）の1次試験に向けた専門試験対策をおこなう。数学や物理、情報、土木についての総合的な知識の定着を目的としている。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを使用する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	工業土木	水理学－水の物理的性質
第 2 回		水理学－静水圧
第 3 回		水理学－水の流れ
第 4 回		水理学－管水路
第 5 回		水理学－開水路
第 6 回		土質力学－土の生成と地盤調査
第 7 回		土質力学－土の基本的性質
第 8 回		土質力学－土中の水の流れと毛管現象
第 9 回		土質力学－地中の応力
第 10 回		土質力学－土の密圧
第 11 回		土質力学－地盤の支持力
第 12 回		土質力学－斜面の安定
第 13 回		土質力学－土の強さ
第 14 回		土質力学－土圧
第 15 回		期末試験

教 科 目 名	イベントプランニングD	担当教師名	富永・仙名
	Event Planning D	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・前期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

毎年9月に開催されている「刈田神社例大祭」において、登別商工会議所青年部とタイアップし、綿密な計画に基づいた店舗の運営と学生の奉仕的立場による後方支援を実施し、イベントに貢献することを目的とする。

[履修に必要なこと]

地域に奉仕する気持ちで、高いモチベーションで後方支援に参画する姿勢が重要である。

[成績評価方法]

レポート

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュール、方針、評価等
第 2 回	登別商工会議所青年部と会合①	日程の確認・業務分担の行動計画
第 3 回	登別商工会議所青年部と会合②	当日の役割についての打ち合わせ
第 4 回	刈田神社例大祭参加	登別商工会議所青年部ブース後方支援
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	事後の振り返り	後方支援の成果についての検証
第 12 回		後方支援の反省点についての検証
第 13 回	レポート提出	レポート提出

教科目名	先進ビジネススキル Advanced Business Skills	担当教師名	小川 昌宏
科・年・期	公務員学科・2年・後期	方法・必選	演習・必修
		単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

事務作業を迅速におこなうために、チャットGPTの活用法を習得することを目的とする。その他にも、行政機関で取り組んでいるDX推進についても学習する。

[履修に必要なこと]

事務作業を軽減させるイメージをもち、チャットGPTを活用すること。

[成績評価方法]

普段の取り組みとチャットGPTを用いた事務作成物により総合的に評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	チャットGPTの活用	質問・回答の検証
第 2 回		文章の要約
第 3 回		英文の翻訳
第 4 回		データ分析
第 5 回		グラフの作成
第 6 回		画像のアップロード
第 7 回		画像の作成①
第 8 回		画像の作成②
第 9 回		定型文の作成
第 10 回		
第 11 回		課題(事務作成物)の作成
第 12 回		
第 13 回	登別市役所でのDX	登別市役所でのDX推進を紹介
第 14 回		DX推進における実効性の検討
第 15 回	課題提出	課題提出

教 科 目 名	パソコン演習Ⅲ	担当教師名	手塚 一志
	Computer Exercises III	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

Microsoft Office Specialist の Word/Excel 資格取得のための演習です。この授業では公務員事務職に就くにあたり正確さ・責任感・完遂力・忍耐力を身につけることを目標にする。

[履修に必要なこと]

教科書に従い、Word と Excel について、様々なテクニックをきちんと正確に習得していくこと。総合問題でポイントを確認し、模擬試験で合格レベルまで繰り返し練習する。

[成績評価方法]

模擬試験の結果により評価する。

[教科書]

よくわかるマスター Microsoft Office Specialist 対策テキスト&問題集
Word 365&2019/Excel 365&2019 FOM 出版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	インストール・授業の進め方
第 2 回	第 1 章	文章作成と管理/ワークシートの作成
第 3 回	第 2 章	文字・段落・セクション/データの管理
第 4 回	第 3 章	表やリストの作成/テーブルの作成
第 5 回	第 4 章	参考資料の作成と管理/演算の実行
第 6 回	第 5 章	グラフィック要素の挿入/グラフの作成
第 7 回	総復習	模擬試験にむけての準備
第 8 回	総復習	模擬試験にむけての準備
第 9 回	総復習	弱点強化
第 1 0 回	模擬試験	第 1 回模擬試験
第 1 1 回	模擬試験	第 2 回模擬試験
第 1 2 回	模擬試験	第 3 回模擬試験
第 1 3 回	模擬試験	第 4 回模擬試験
第 1 4 回	模擬試験	第 5 回模擬試験
第 1 5 回	模擬試験	総復習

教科目名	ドキュメンテーション	担当教師名	藤谷 江理子
	Documentation	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	1.5単位・45時間

[授業の目的・方針]

情報を収集しまとめ、記録するスキルの向上を目的とする。集められた情報を文書化し写真や図表を加えることで、視覚的にわかりやすい記録の作成を目指す。

[履修に必要なこと]

行政事務に必要な、情報をまとめ見やすく記録することが重要である。

[成績評価方法]

課題提出・レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	ドキュメンテーションの概要説明
第 2 回	情報の収集	インターネットを用いた情報の収集法
第 3 回		文献を用いた情報の収集法
第 4 回		聞き取り調査を用いた情報収集法
第 5 回		アンケート調査を用いた情報収集法
第 6 回	写真撮影	効果的な写真撮影
第 7 回	情報の可視化	収集した情報の短文による表現
第 8 回		収集した情報の絵による表現
第 9 回		収集した情報の図表による表現
第 10 回	ドキュメンテーション作成	グループごとにドキュメンテーションを作成
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回	ドキュメンテーション発表	ドキュメンテーションの発表
第 14 回		
第 15 回	ドキュメンテーション提出	ドキュメンテーション提出

教 科 目 名	プレゼンテーション	担当教師名	小川 昌宏
	Presentation	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

プレゼンターとしての技術を習得するために、基本構成から立ち振る舞いや発表方法など余すことなく学習します。

[履修に必要なこと]

わかりやすい発表資料の作成、聞いている人を納得させる発表の工夫を意識すること。

[成績評価方法]

積極性や提出課題、最終発表を通して総合的に評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	今後のスケジュール、方針、評価等
第 2 回	成功のカギ	技術習得のためのカギとなるポイントの話
第 3 回	プレゼンテーション のタイプ	提案について
第 4 回		販売について
第 5 回		進捗報告について
第 6 回	聴衆の分析	聴衆の構成・観点・知識レベルの分析の重要性
第 7 回	プレゼンテーションの内容	導入部・本文・結論の構成について
第 8 回	効果的な話し方	話し方に於ける態度・技術・知識について
第 9 回	視覚的資料/機器	機能・定義・選択・補助・測定について
第 10 回	ヒント	効果的なプレゼンテーションを行うヒント
第 11 回	プレゼンターの心得	プレゼンターとして覚えておくべきこと
第 12 回	最終課題作成	最終発表に向けて3つの課題（提案・販売・進捗報告）を作成し発表に備える。
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回	最終発表	3つの課題をプレゼンテーションする

教 科 目 名	プロジェクトマネジメント演習	担当教師名	小川 昌宏
	Project Management Exercise	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

WBS及びガントチャートを学び、使いこなすスキルを養成することを目的とする。また、卒業研究発表に向けて同スキルの活用を期待する。

[履修に必要なこと]

WBS及びガントチャートの活用が、便利と感じるように取り組むことが重要である。

[成績評価方法]

積極性や提出課題、最終発表を通して総合的に評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	WBS	プロジェクト管理とは？
第 2 回		作業分解構造図
第 3 回		作業内容の確認
第 4 回		作業優先度の設定
第 5 回		作業依存度の特定
第 6 回		WBSテンプレートを使った構造化
第 7 回		関係者との共有
第 8 回	ガントチャート	進捗や作業工程の管理
第 9 回		タスク・ステータス
第 10 回		進捗率
第 11 回		タイムスケール
第 12 回		ガントバー
第 13 回		ロードマップ
第 14 回		マイルストーン
第 15 回	課題提出	課題提出

教 科 目 名	社会課題概論	担当教師名	仙名 伸行
	Introduction to Social Issues	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

グローバルな視点から、国際経済や国際協力について学び、外国人観光客や在日外国人及び国際貿易で生じる経済的効果と格差について理解する。学生が公務員となり、外国人に対応する際に、円滑に対応できる素地を身につけさせることを目的としている。

[履修に必要なこと]

公務員が対応する対象が、外国人であるケースをイメージして授業に参加すること。

[成績評価方法]

レポート提出により評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	自衛隊の国際協力	東ティモールに対するPKOの派遣事例
第 2 回		ジブチ共和国における航空自衛隊の駐留
第 3 回	海上保安庁の国境警備	中国との国境線における現況
第 4 回		尖閣諸島の国境警備
第 5 回	警察の外国人犯罪	在日クルド人による犯罪の事例
第 6 回		在日東南アジア人による犯罪の事例
第 7 回	札幌出入国在留管理局の業務	在日外国人によるオーバーステイの現状
第 8 回		外国人観光客の動向
第 9 回	税関職員による水際作戦	外国人渡航者の麻薬密輸の現状
第 10 回		外国人渡航者の金密輸の現状
第 11 回	ニセコ町のバブル経済	外国人による用地買収問題
第 12 回		外国人移住者による地域住民とのトラブル
第 13 回	沖縄県の米軍問題	在日米軍による経済効果
第 14 回		在日米軍による犯罪行為
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教科目名	社会課題解決 Social Issue Resolution	担当教師名	仙名 伸行
科・年・期	公務員学科・2年・後期	方法・必選	演習・選択
		単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

地域環境の視点から、登別市内でおきている社会課題について学び、その解決策を考察することを目的とする。登別市役所や登別市議会を訪問し、社会課題についての問題提起と行政の今後の取り組みを明確にしたい。

[履修に必要なこと]

社会課題である事象を自分の目でみて、その具体的な解決策を考えてもらいたい。

[成績評価方法]

レポート提出により評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	フィールドワーク	津波発生時の鷺別地区の避難経路の確認
第 2 回		線路踏切による避難経路の遮断を視認
第 3 回		アンダーパスの渋滞を予想
第 4 回	登別市議会議員訪問	津波発生時の鷺別地区におけるグループワーク
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	登別市役所総務課 防災グループ訪問	津波発生時の鷺別地区におけるグループワーク
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回	社会課題解決の検討	津波発生時の鷺別地区の避難経路の検討と改善策
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教科目名	問題解決プロセス Problem Solving Process	担当教師名	仙名 伸行
科・年・期	公務員学科・2年・後期	方法・必選	演習・選択
		単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

卒業研究及び研究発表をおこなうための課題の見つけ方、課題解決に向けた方法論を習得することを目的としている。また、考察の導き方について習得する。

[履修に必要なこと]

問題意識をもって授業に臨むことが重要である。

[成績評価方法]

レポート提出により評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	卒業研究発表の概要	卒業研究発表の概要説明
第 2 回	課題の見つけ方	文献調査方法論
第 3 回		現地調査方法論
第 4 回		聞き取り調査方法論
第 5 回		アンケート調査方法論
第 6 回	エビデンスの意識	数字的根拠の見つけ方
第 7 回	作用と副作用の検討	政策に対する作用と副作用の確認
第 8 回		副作用を薄めるために
第 9 回	考察の導き方	考察とは何か？
第 10 回		作用と副作用の検討
第 11 回		考察を導くトレーニング
第 12 回	千歳川放水路計画の事例	千歳川放水路計画から上記の検証
第 13 回		
第 14 回	まとめ	まとめ
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	政策デザイン	担当教師名	仙名 伸行
	Policy Design	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	2単位・60時間

[授業の目的・方針]

公務員学科卒業期の集大成として、行政機関や公安機関と協力して卒業研究及び研究発表をおこなう。市民サービスという観点から新たな政策提言をおこない、より安全でより住みやすい地域づくりを担う意識を醸成することが目的である。

[履修に必要なこと]

卒業研究発表を意識して、クラスメイトと協力し研究発表に取り組む姿勢が重要である。

[成績評価方法]

卒業研究発表により評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	グループ分け	希望職種ごとにグループ分け
第 2 回	テーマの設定	テーマを検討し設定
第 3 回		
第 4 回	文献調査	テーマに関する文献を用いた調査
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回	聞き取り調査	行政機関訪問のアポイント
第 8 回		質問事項・調査対象の確認
第 9 回		行政機関訪問
第 10 回		行政機関訪問
第 1 回	発表内容の検討	調査結果のまとめ
第 2 回		考察の検討
第 3 回		発表内容の検討
第 4 回	卒業研究発表資料の作成	卒業研究発表資料の作成
第 5 回		
第 16 回		
第 17 回		
第 18 回		
第 19 回	卒業研究発表	卒業研究発表(コメントータを外部依頼)
第 20 回	振り返り	振り返り・反省会

教 科 目 名	キャリアデザインA	担当教師名	富永 史人
	Career Design A	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

自分に合った進路の見つけ方や自分のキャリアの活かし方を学びます。

[履修に必要なこと]

慣れない用語がたくさん出てくるので、きちんと復習すること。

[成績評価方法]

積極性・提出物・期末試験の結果により総合的に評価する。

[教科書]

これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナー 株式会社ウイネット

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	科目概要と進め方
第 2 回	I. 社会人になるとは	なぜ働くのか
第 3 回		社会人として求められる資質
第 4 回		社会人としてふさわしい身だしなみ
第 5 回	II. 基本動作	立つ姿勢・お辞儀の仕方
第 6 回		椅子の立ち座り・歩き方
第 7 回		表情・発声練習
第 8 回	III. 言葉遣い	正しい言葉遣い・話の仕方、聞き方
第 9 回		敬語の基本・間違えやすい敬語
第 10 回	IV. 電話対応	正しい電話対応を身につけよう
第 11 回		電話対応の注意点
第 12 回		電話のかけ方・電話の受け方
第 13 回	V. 電子メールのマナー	電子メール使用の注意点
第 14 回		電子メールの文例
第 15 回	VI. 総括	総括と期末試験

教 科 目 名	キャリアデザインB Career Design B	担当教師名	富永 史人
科・年・期	公務員学科・2年・後期	方法・必選	講義・必修
		単位・時間	3単位・45時間

[授業の目的・方針]

就職後必要とされるスキルを確認し、即戦力となるべく在学中に修得できるよう取り組む。

[履修に必要なこと]

慣れない用語がたくさん出てくるので、きちんと復習すること。

[成績評価方法]

積極性・提出物・最終発表の結果により総合的に評価する。

[教科書]

これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナー 株式会社ウィネット

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方と評価方法説明
第 2 回	電話のかけ方	実践的な内容での練習
第 3 回	電子メールの書き方	実践的な内容での練習
第 4 回	テーマ決定	事前に企業に連絡を取りテーマを頂く
第 5 回	問題解決技法	テーマ達成に向けたシナリオ作成
第 6 回	スケジュール作成	達成に向けたスケジュール作成
第 7 回	中間発表①	テーマに沿った計画発表
第 8 回	取組み	計画に沿って取り組む
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	中間発表②	経過報告
第 12 回	取組み	計画に沿って取り組む
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回	最終発表	効果の検証

教 科 目 名	インターンシップD	担当教師名	富永・仙名
	Internship D	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	1単位・30時間

学生本人が希望する行政機関でインターンシップをおこない、実際の業務や地域住民に対する行政サービスの提供を経験する。公務員としての具体的な職業観を身につけ、入職前に職場環境へ適応できる準備につなげることを目的とする。

[履修に必要なこと]

公務員としての業務を体験し、具体的な職業観を身につけていることが重要である。

[成績評価方法]

受け入れ先の評価・レポート等で評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュールの確認等
第 2 回	概要説明	実習先の概要について調査します
第 3 回	心構え	実習先での行動の注意点について学習します
第 4 回	インターンシップ	職場で実習
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回	報告会準備	報告の準備
第 15 回	報告会	報告会の実施

教 科 目 名	インターンシップE	担当教師名	富永・仙名
	Internship E	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	4単位・120時間

学生本人が希望する行政機関で長期インターンシップをおこない、実際の業務や地域住民に対する行政サービスの提供を経験する。公務員としての具体的な職業観を身につけ、入職前の事前準備をすることを目的とする。

[履修に必要なこと]

公務員としての業務を体験し、具体的な職業観を身につけていることが重要である。

[成績評価方法]

受け入れ先の評価・レポート等で評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュールの確認等
第 2 回	概要説明	実習先の概要について調査します
第 3 回	心構え	実習先での行動の注意点について学習します
第 4 回	インターンシップ	職場で実習
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回	報告会準備	報告の準備
第 15 回	報告会	報告会の実施

教 科 目 名	イベントプランニング E	担当教師名	富永 史人
	Event Planning E	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員学科・2年・後期	単位・時間	1.5 単位・45 時間

[授業の目的・方針]

生涯スポーツであるモルックやキンボールを体験し、子どもから高齢者までが一緒にスポーツに取り組むイベントを企画する。また、小中学校や福祉施設と協力し、交流型のスポーツイベントを実施し、地域連携に貢献することを目的とする。

[履修に必要なこと]

外部の方とも円滑にコミュニケーションをとり、積極的に参加する姿勢を求める。

[成績評価方法]

レポート・参加姿勢により評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	モルック	競技・ルールの説明
第 2 回		備品の扱い方
第 3 回		小グループによる競技
第 4 回		競技後の振り返り
第 5 回	キンボール	競技・ルールの説明
第 6 回		備品の扱い方
第 7 回		小グループによる競技
第 8 回		競技後の振り返り
第 9 回	競技会準備	競技会の計画
第 10 回		外部機関との調整
第 11 回		会場設営
第 12 回	競技会の開催	競技会の運営・参加
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回	振り返り	反省会・レポート作成